



## 平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テー・オー・ダブリュー

コード番号 4767 URL <http://www.tow.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名) 川村 治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 木村 元

TEL 03-5777-1888

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

平成24年3月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	6,830	17.8	592	66.8	600	70.5	322	120.4
23年6月期第2四半期	5,799	△16.8	355	△11.1	352	△12.1	146	△32.4

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 253百万円 (75.9%) 23年6月期第2四半期 144百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	28.32	—
23年6月期第2四半期	12.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第2四半期	8,911	5,214	58.5	457.40
23年6月期	7,391	5,015	67.8	439.98

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 5,213百万円 23年6月期 5,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	16.00	—	5.00	21.00
24年6月期	—	13.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,470	8.5	674	78.3	686	81.6	372	184.0	32.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期2Q	12,242,274 株	23年6月期	12,242,274 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年6月期2Q	845,129 株	23年6月期	845,099 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	11,397,171 株	23年6月期2Q	11,478,862 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11
5. 補足情報 .....	12
(1) 販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2半期のわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの早期復旧等により持ち直しの動きも見られるものの、欧州の債務危機を背景とした海外経済の減速、国内株式市場の低迷や円高など、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する広告業界におきましては、震災後の大きな落ち込みから前年並みの水準に戻りつつあり、当社グループの事業領域であるプロモーション領域におきましても、自粛措置等が取られていたクライアント各社の販促活動に持ち直しの傾向が見られました。

このような事業環境の中、当社といたしましては、震災後に活性化した情報通信・飲料各社のフィールドプロモーションの取り込み、医薬品業界やゲーム各社などの新規クライアントの取り込み等、積極的な営業活動に注力しました。

また、デジタル部門の強化策としてWeb制作会社㈱ニューロマジックほか2社との業務連携の実施や、店頭プロモーションの強化策として成果追求型の営業支援業務を行う㈱ヒト・コミュニケーションズとの業務連携の模索等、前期に引き続きワンストップ体制とプロモーション提案力の強化にも取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期の業績は、連結・個別共に平成23年8月5日発表の業績予想を上回り、平成23年12月15日に業績予想の上方修正を行いました。さらに、既存案件の売上高が引き続き予想を上回ったことに加え、販管費の予算未消化があったため、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに公表値を上回る結果となり、売上高は68億30百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益は5億92百万円（前年同四半期比66.8%増）、経常利益は6億00百万円（前年同四半期比70.5%増）、四半期純利益は3億22百万円（前年同四半期比120.4%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億20百万円増加し、89億11百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億46百万円増加の75億53百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億15百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が9億23百万円、未収入金が10億51百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億25百万円減少の13億58百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少の86百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減価償却によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少の52百万円となりました。これは主に、株式会社ペッププランニングとの資本関係を解消したことによる、のれんの減少によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少の12億19百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が34百万円増加しましたが、投資有価証券が1億17百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13億59百万円増加の33億59百万円となりました。これは主に、買掛金が9億2百万円、その他が2億42百万円、未払法人税等が1億97百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少の3億37百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が6百万円、役員退職慰労引当金が6百万円増加しましたが、長期借入金金が50百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億98百万円増加の52億14百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が69百万円減少しましたが、利益剰余金が2億67百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

このままの状況が続けば、通期の業績は平成23年8月5日の公表値を上回る可能性があるものの、国内外の経済状況にまだまだ不確定要素が多々あるため、現状では、通期の業績予想につきましては、連結・個別共に変更しておりません。

配当に関しまして、中間配当金につきましては、平成24年2月6日開催の取締役会にて1株につき13円とさせていただきます。期末配当金につきましても同様に1株につき13円を予定しており、直近の配当予想のとおり通期で26円の配当金を予定しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,895,474	1,479,710
受取手形及び売掛金	1,225,746	2,149,030
未成業務支出金	198,777	292,405
未収入金	2,487,548	3,538,976
前払費用	36,392	35,759
繰延税金資産	53,154	45,135
その他	10,554	12,582
貸倒引当金	△267	—
流動資産合計	5,907,380	7,553,601
固定資産		
有形固定資産	96,607	86,169
無形固定資産	80,454	52,911
投資その他の資産		
投資有価証券	650,643	533,056
保険積立金	296,330	303,885
繰延税金資産	107,733	142,706
敷金及び保証金	241,475	231,175
その他	19,153	8,410
貸倒引当金	△8,426	—
投資その他の資産合計	1,306,910	1,219,234
固定資産合計	1,483,972	1,358,315
資産合計	7,391,352	8,911,917
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	758,808	1,661,575
短期借入金	840,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	14,312	—
未払法人税等	71,935	269,467
賞与引当金	17,583	20,221
役員賞与引当金	—	27,610
その他	297,738	540,640
流動負債合計	2,000,378	3,359,515
固定負債		
長期借入金	50,004	—
退職給付引当金	160,411	166,715
役員退職慰労引当金	162,586	168,984
その他	2,300	2,300
固定負債合計	375,302	337,999
負債合計	2,375,681	3,697,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,027,376	1,027,376
利益剰余金	3,480,497	3,748,351
自己株式	△470,235	△470,248
株主資本合計	4,986,634	5,254,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,491	5,171
土地再評価差額金	△46,614	△46,614
その他の包括利益累計額合計	27,876	△41,442
新株予約権	1,160	1,371
純資産合計	5,015,671	5,214,402
負債純資産合計	7,391,352	8,911,917



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,799,255	6,830,830
売上原価	5,047,647	5,853,668
売上総利益	751,608	977,162
販売費及び一般管理費	396,416	384,830
営業利益	355,191	592,331
営業外収益		
受取利息	17	2
受取配当金	2,807	4,216
有価証券利息	—	1,770
消費税差益	—	3,688
雑収入	2,179	1,755
営業外収益合計	5,005	11,433
営業外費用		
支払利息	3,646	2,875
売上債権売却損	178	558
保険解約損	4,036	—
雑損失	260	0
営業外費用合計	8,122	3,433
経常利益	352,073	600,331
特別利益		
関係会社株式売却益	—	17,176
特別利益合計	—	17,176
特別損失		
投資有価証券評価損	8,847	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,233	—
特別損失合計	16,080	—
税金等調整前四半期純利益	335,993	617,508
法人税、住民税及び事業税	126,462	270,843
法人税等調整額	62,047	23,880
法人税等合計	188,509	294,724
少数株主損益調整前四半期純利益	147,483	322,783
少数株主利益	1,023	—
四半期純利益	146,460	322,783

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	147,483	322,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,604	△69,319
土地再評価差額金	△18,972	—
その他の包括利益合計	△3,367	△69,319
四半期包括利益	144,116	253,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,092	253,463
少数株主に係る四半期包括利益	1,023	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	335,993	617,508
減価償却費	25,547	18,821
のれん償却額	4,512	2,100
株式報酬費用	211	211
保険解約損益(△は益)	4,036	△188
賞与引当金の増減額(△は減少)	426	3,137
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	8,998	27,610
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,034	6,303
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,925	6,397
受取利息及び受取配当金	△2,825	△5,988
支払利息	3,646	2,875
投資有価証券評価損益(△は益)	8,847	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△17,176
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,333	—
売上債権の増減額(△は増加)	192,354	△930,453
未収入金の増減額(△は増加)	△629,160	△1,055,941
たな卸資産の増減額(△は増加)	△193,791	△100,743
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△652	△3,603
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	—	3,100
仕入債務の増減額(△は減少)	138,089	914,913
その他の流動負債の増減額(△は減少)	12,570	281,707
その他	△4,230	—
小計	△84,984	△229,408
利息及び配当金の受取額	2,825	5,988
利息の支払額	△3,509	△2,888
法人税等の支払額	△180,761	△75,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	△266,429	△301,339
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60	—
有形固定資産の取得による支出	△16,482	△2,990
無形固定資産の取得による支出	△10,094	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△41,514
従業員に対する貸付けによる支出	△900	—
従業員に対する貸付金の回収による収入	840	380
その他の支出	△15,126	△13,278
その他の収入	23,861	620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,962	△56,782

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△7,798	—
自己株式の取得による支出	△30	△13
配当金の支払額	△184,188	△56,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,016	△56,999
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△476,408	△415,121
現金及び現金同等物の期首残高	2,210,653	1,894,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,734,245	1,479,710

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

当社連結グループは同一セグメントに属するイベントの「企画」・「制作」・「運営」・「演出」及びそれに付帯する業務を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 販売の状況

カテゴリー別売上高

カテゴリー	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)		前年比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
制作売上高					
販促	3,875,138	66.9	4,557,898	66.7	17.6
広報	1,533,515	26.4	1,486,985	21.8	△ 3.0
博展	—	—	—	—	—
制作物	344,101	5.9	714,503	10.5	107.6
文化／スポーツ	2,435	0.0	30,314	0.4	1145.0
小計	5,755,190	99.2	6,789,701	99.4	18.0
企画売上高	44,064	0.8	41,128	0.6	△ 6.7
合計	5,799,255	100.0	6,830,830	100.0	17.8